

令和 3 年度

教育委員会の点検・評価に関する報告書

令和 4 年 8 月 大多喜町教育委員会

教育委員会の点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部が改正され、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的、具体的な教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要性が高いと考えられ、また、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実することが求められています。

そこで、大多喜町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の点検・評価を実施し、本報告書を作成しましたので公表いたします。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

大多喜町教育委員会委員名簿（令和3年度在籍）

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

職 名	氏 名
教育長	宇 野 輝 夫
教育長職務代理者	宮 本 清
委 員	田 邊 壮 玄
委 員	中 村 俊 夫
委 員	佐 川 桂 子

1 教育委員会議の開催状況

教育委員会議は、年4回開催される「定例会」及び臨時的に開催される「臨時会」があり、令和3年度は合計で6回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・4回
- (2) 教育委員会臨時会・・・2回

2 教育委員会議での審議状況

令和3年度は合計で、20件について審議しました。

令和３年度教育委員会審議案件等一覧

(１) 令和３年度教育委員会議 定例会及び臨時会審議案件

議案 番号	件名	提出日
第２回定例会	１ 大多喜町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	５月 ２１日
	２ 大多喜町社会教育委員の委嘱について	
	３ 大多喜町公民館運営審議会委員の委嘱について	
	４ 大多喜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
	５ 令和３年度教科用図書夷隅採択地区協議会規約（案）について	
	６ 令和３年度教科用図書夷隅採択地区協議会委員（案）について	
	７ 令和４年度教科用図書夷隅採択に係る調査委員の推薦について	
	８ 令和３年度大多喜町教育委員会関係予算（６月補正）について	
２回臨時	１ 令和４年度使用教科用図書の採択について	７月 １２日
第３回定例会	１ 令和２年度教育委員会の点検・評価に関する報告書について	８月 ２７日
	２ 令和３年度大多喜町教育委員会関係予算（９月補正）について	
第４回定例会	１ 大多喜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	１１月 １９日
	２ 大多喜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
	３ 令和３年度大多喜町教育委員会関係予算（１２月補正）について	

第 1 回 定 例 会	1	令和4年度大多喜町の教育に関する指針について	2月 25日
	2	令和3年度大多喜町教育委員会関係予算（3月補正）について	
	3	令和4年度大多喜町教育委員会関係予算について	
1 回 臨 時	1	行政手続等における押印等の見直しに伴う関係規則の整理に関する規則の制定について	3月 25日
	2	大多喜町スポーツ推進委員の委嘱について	
	3	県費負担教職員及び町教育委員会職員の人事異動について	

令和３年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			必要性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 効率性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 総合評価・・・ A＝継続 B＝改善継続 C＝見直し D＝廃止			
番号	事務事業名	主管課	必要性	効率性	評価 (方向性)	点検・評価
1	外国語講師派遣事業	教育課	A	A	A	外国語を楽しみ、自己の考えなどを主体的に発信する児童生徒の育成を目指し事業に取り組んでいる。 平成２９年度から外国語教育支援アドバイザーを委託し、保育園から中学校までの外国語教育を系統的に効率よく学習できるよう、授業参観及び参観後の指導・助言を行っている。 また、各小学校全教諭を対象に、三育学院講師、外国語教育支援アドバイザーと協力して、研修を実施し、小学校教諭の資質向上を図った。
2	特別支援教育推進事業	教育課	A	A	A	児童生徒一人一人のニーズを把握し児童生徒が必要とする支援の内容と方法を明らかにするため、夷隅地区特別支援連携協議会の巡回相談員や検査協力員の活用を図った。特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒に対する効果的な支援に繋がるとともに、多くの教員が、特別支援に関する配慮について学ぶことができた。 町教育支援委員会を５月、１１月、１月に開催し、各特別支援学級の現状を把握し、医師・指導主事・特別支援学校教諭等から適切なアドバイスをいただいた。
3	職員研修推進事業	教育課	A	B	A	８月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため１１月に東上総教育事務所管理主事を講師として不祥事防止研修会を実施した。具体的な事例が示され、不祥事発生につながる状況や環境が確認された。不祥事根絶への意識の高揚が見られた。

令和3年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			必要性・・・A=高い B=普通 C=低い 効率性・・・A=高い B=普通 C=低い 総合評価・・・A=継続 B=改善継続 C=見直し D=廃止			
番号	事務事業名	主管課	必要性	効率性	評価 (方向性)	点検・評価
4	学校管理事務事業	教育課	A	A	A	学校の施設修繕・管理、また児童生徒教員の各種検査を行い、健康管理に役立てることができた。
5	学校施設管理事業	教育課	A	A	A	各小中学校の施設の軽微な不具合箇所の改修と修繕等を実施した。 ・西小学校浄化槽ロータリーブロワ交換業務 ・大多喜中学校ガスヒートポンプエアコン修繕 ・大多喜小学校漏水修繕 ・大多喜小学校職員男子トイレ小便器センサー修繕 ・西小学校プール施設用仕切弁修繕 ・小学校2校消防設備修繕など
6	クラブ活動補助事業	教育課	A	A	A	クラブ活動に必要な物品の購入により、内容が充実し、活発に活動することができている。
7	遠距離通学者補助事業	教育課	A	A	A	通学距離が、小学校4km、中学校6km以上で交通機関を利用し通学する児童生徒の往復の定期券代を補助し、保護者の経済的負担軽減を図った。児童33名、生徒35名が該当した。

令和３年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			必要性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 効率性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 総合評価・・・ A＝継続 B＝改善継続 C＝見直し D＝廃止			
番号	事務事業名	主管課	必要性	効率性	評価 (方向性)	点検・評価
8	児童生徒就学援助事業	教育課	A	A	A	準要保護就学援助制度について、全保護者に周知文書を配布した。児童 25 名、生徒 11 名について認定し、援助を行った。母子家庭の増加や不景気による収入減により、今後も該当者が増加することが懸念される。 特別支援教育就学奨励制度についても、該当保護者に通知し、児童 3 名について援助を行った。
9	奨学金整備事業	教育課	A	A	A	令和３年度現在の基金は、34,943 千円であり、4,024 千円が貸与中である。また、令和３年度の新規奨学生の応募について、修学資金が 1 件、一時金が 2 件だった。 今後も広報・ホームページ等を活用し周知を図っていき、向学心のある学生の希望に可能な限り応えられるよう、基金の更なる充実を図っていく。
10	給食センター運営事業	教育課	A	A	A	衛生管理の徹底により、学校給食の安定供給と児童生徒に安全で安心な給食を提供できた。 また、小中学校の給食費の補助業務も順調に実施でき、保護者の経済的負担の軽減による子育て支援の推進に資することができた。
11	社会教育団体育成事業	生涯学習課	A	A	A	子ども会育成会連絡協議会、文化団体連絡協議会は、年々会員数が減少傾向となっているが、それぞれが活動の推進に努め、円滑な運営が図られている。

令和３年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			必要性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 効率性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 総合評価・・・ A＝継続 B＝改善継続 C＝見直し D＝廃止			
番号	事務事業名	主管課	必要性	効率性	評価 (方向性)	点検・評価
1 2	生涯学習推進事業	生涯学習課	A	A	A	学校独自のプログラムとして開催する「高齢者ふれあい学級」は、子どもたちと高齢者とのふれあいの場を通じて家庭教育の充実を図った。 「おいでよ子ども体験塾」は、参加者の目線に立って、常に子どもたちが興味を持って参加できる事業の推進に努めた。 町民カレッジは、年々定着しつつあり、幅広い層が自由に参加できる事業の推進に努めた。 サマースクールは、夏休み期間中の子どもたちへの学習支援や学習の習慣化を目的として事業の推進に努めた。 いずれの事業も新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や規模を縮小しての開催と計画どおりの事業の推進が図れなかった。
1 3	青少年健全育成事業	生涯学習課	A	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員連絡協議会主催の青少年のつどい大会（キックベースボール）は中止となった。 今後は、コロナ禍においても安心して参加できる事業に置き換え、健康で明るい青少年の育成が図れるよう努める。
1 4	公民館管理運営事業	生涯学習課	A	A	A	コロナ禍においても利用者が安心・安全・快適に施設利用ができるよう適正な管理に努めた。

令和３年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			必要性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 効率性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 総合評価・・・ A＝継続 B＝改善継続 C＝見直し D＝廃止			
番号	事務事業名	主管課	必要性	効率性	評価 (方向性)	点検・評価
15	文化財保護事業	生涯学習課	A	A	A	町の有形文化財など貴重な文化遺産を次世代へ継承していく必要があるため、保護と保存に努めた。
16	視聴覚教育推進事業	生涯学習課	A	A	A	視聴覚センターへ負担金を支出し、センターの運営に努めている。
17	結婚支援のための拠点づくり事業	生涯学習課	A	A	A	青年サークルを中心としてコロナ禍でも実施可能なイベントを検討し、継続的に推進する。
18	海洋センター管理運営事業	生涯学習課	A	A	A	野球場、テニスコート、体育館、プール等のスポーツ施設の管理運営と効率的な運営を行い利用者が安全かつ快適に利用できる環境整備に努めている。 給水管更新工事、柔道場畳入替、野球場駐車場区画線工事を実施し、完了した。
19	保健体育振興事業	生涯学習課	A	A	A	コロナ禍において、感染対策を実施しながら各種教室やスポーツ大会を開催することにより、町民が広くスポーツに親しむ場を提供すると共に、スポーツを通じ健康増進と体力向上を図り生涯スポーツの充実に向けた取り組みを行った。
20	図書館管理運営事業	生涯学習課	A	A	A	コロナ禍においても利用者が安心・安全・快適に施設利用ができるよう適正な管理に努めた。 図書館蔵書及び施設の効率的な維持管理と利用向上に努めている。特に蔵書のインターネット検索予約の運用や読書活動の推進を図るため、保育園・小中学校への「図書館定期便」を毎月２回実施している。

令和３年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			必要性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 効率性・・・ A＝高い B＝普通 C＝低い 総合評価・・・ A＝継続 B＝改善継続 C＝見直し D＝廃止			
番号	事務事業名	主管課	必要性	効率性	評価 (方向性)	点検・評価
２１	大多喜の冊子発行事業	生涯学習課	A	B	A	地方への移住希望者に大多喜町を選んでもらえるよう、移住者の目線で町を紹介する冊子「あてら」の継続（第１１号）発行。